

全国大会出場!! ~活躍する北陵生~

前回の学校だよりで高体連各種大会における結果を掲載しましたが、その後の全道大会の結果、少林寺拳法部、水泳部、陸上競技部、弓道部が全国大会出場を決めました。今回は全国大会に出場する生徒に依頼し、大会の結果報告をしてもらいました。

○少林寺拳法部

第35回北海道高等学校少林寺拳法選手権大会
兼 第43回全国高等学校少林寺拳法大会 北海道予選会 出場
女子組演武優勝 女子団体演武優勝

北海学園札幌高校で行われた今年の高体連で、私は2人1組で行う女子組演武と、6人から8人一組で行う団体演武に出場しました。

組演武では、決められている技を行う規定組演武と自分たちで技を創作する自由組演武の2種目の合計点で競います。丁寧さはもちろん、武的要素と呼ばれる迫力や力強さもなくてはなりません。私にとって2年ぶりの組演武でしたが、先輩と何度も話し合い、お互いが演武しやすいように工夫できたと思います。

団体演武では、私が入部した時からほとんど同じメンバーでこれまでの大会に出場してきました。今回の高体連は今のメンバーで演武することができる最後の大会なので特に力を入れて練習をしてきました。団体では、演武者全員の動きが揃っていることに加え、速さやキレ、力強さなどで点数に差が出ます。私たちは全国の強豪校が持つスピード・キレを特に意識して今回の大会に臨みました。上手くいく日もあれば、ケガが続き、なかなか調子が上がらない時期もありましたが1年以上同じメンバーということもあり、たいへんな時も乗り越えられたと思います。

準備をしっかりとって、次の第43回全国高等学校少林寺拳法大会に臨みたいと思います。



(2年 斎藤)

○水泳部

第69回北海道高等学校選手権水泳競技(競泳)大会
兼 第84回日本高等学校選手権水泳競技(競泳)大会 北海道予選会
100mバタフライ第3位 200mバタフライ第3位

私はインターハイに出場することを目標に練習してきました。

去年はケガをして泳げない時期があったり、自分の思うようなタイムを出すことができなかったりして悔しい思いをたくさんしました。

でもあきらめず水泳を続けて来られたのは、熱心に指導してくださるだけでなく精神面でも支え続けてくれたコーチや、いつも優しく声をかけてくれた学校の先生や友達、一緒に練

習を続けてきた仲間、つらい時に近くに来てくれた家族がいたからだと思います。

2日間にわたる競技の中でも特に決勝のレース前は緊張がピークに達し、震えが止まりませんでしたでしたが、大きな声で名前を呼んで応援してくれた仲間のおかげで自分らしい泳ぎができ、インターハイの出場を決めることができました。決まった時は泣きながらでも練習をやってきて本当によかったなと思いました。

インターハイではもっと緊張すると思いますが、感謝の気持ちを忘れず来年につながる泳ぎをして自己ベストを更新できるようにがんばってきます！

(2年 岩元)

○陸上競技部

第66回北海道高等学校陸上選手権大会
5000m競歩 第3位

私は中学からこれまで6年間陸上を続けてきました。元々は800mが専門種目でしたが、高校に入ってから興味本位で始めたのが競歩でした。初めて大会に出た時はルールもいまいちよくわからずに、周りの選手とかなり周回差がついて、やっと歩ききった感じでした。私自身、競歩を甘く見ていましたが、今ではすっかり競歩の魅力にはまっています。

私は今回インターハイへの切符を手にすることができましたが、今年の3月まではまったくインターハイが遠い存在だと思っていました。練習はきついのに、記録が伸びない時には本当に心が折れそうでやめたいと思う毎日でした。そんな時に一緒にがんばってくれる仲間の存在が本当に大きかったです。個人種目がほとんどの陸上ですが、仲間がいないとできないものだと知りました。また、部活を支えてくれる顧問、副顧問の先生はもちろんのこと、3月に転動した前顧問の先生には本当に感謝しています。それから週3で一緒に練習していただいている競歩チームの皆さんやいつも応援してくれる家族や友達など本当にたくさんの方に支えられました。

この感謝の気持ちを忘れずに3年間の集大成としてインターハイに挑んでいきます！

(3年 沖田)

○弓道部

第62回北海道高等学校弓道競技選手権大会
兼 第61回全国高等学校弓道競技選手権大会北海道予選会
女子団体優勝

全国へ至るまでは幾度かひやひやさせられることがありました。全道へ4位という結果で進み、予選では最後の最後までひどい結果を出さずに終えることができましたが、予選後のトーナメント戦では3回戦のうち3回ともとてもギリギリの戦いでした。決勝では大会中最高の中を出すことができましたが、相手とは1中差という本当に僅差の結果でした。



次の全国では、3年はとうとう引退する最後の大会であるというプレッシャーや2年の「先輩に迷惑をかけてしまうかもしれない」というプレッシャーがより大きくなり、また「全国」という重みがのしかかると感じます。その重みに負けず北海道の代表として行くということを忘れずに戦い抜きます。

全国大会出場を決めるまで応援に助けられた場面が何度もありました。応援してくださった皆様へ感謝するとともに、良い結果をお伝えできるよう、選手一同よりいっそう練習を重ねていきたいと思っています。応援よろしくお願いします。

(3年 酒井)